古代模樣式圖考 上

原圖諸大家

狩野元信
尾形光琳
野村宗達
岩佐又平
英一蝶
酒井抱一
谷文晁
菱川師宣
葛飾北齋
柴田是眞
菊池容齋

沿革

文武天皇より淳和

(紀元千三百五十七年より

蝦夷 陸奥 出羽 秋田 伊治 玉造 多賀城 胆沢 小勝 佐渡 越後 常陸 下野 上野 下総 上総 安房 武蔵 相模 甲斐 伊豆 信濃 駿河 遠江 参河 越中 能登 加賀 飛騨 美濃 尾張 越前 近江 不破関 鈴鹿関 伊賀 伊勢 若狭 丹後 丹波 山城 摂津 河内 和泉 大和

三餘會藏版

高橋詠而編輯
古代模樣式圖考
三得會藏版

序

言に文あり。風の浪を蕩し。鳥蝶の奏をまねし。百獣の山窟に走り。彩雲の蒼穹に靉靆たる。其他毛羽の翩翻。晩浦の漁舟。村荘の優雅。一として模様あらざるなし。模様の天地間に充る事。殆ど無尽蔵にして益自然の現象あり。其他古人も是を取るに工拙あり。之を用ゆるに方法あり。然ば其模様宜を得ざれば美術をなすことを能はざるなり。本書ハ画家の巨擘なる菱川師宣

光琳、宗達、抱一、北斎、一蝶、芳中、文晁、容斎、其具、元信及び名大家の妙案を集め之を品物の応用に当嵌め自ら実業の便利に供せんとして編輯したるものなれば画家機業家彫刻染物装具建築陶工等百般の事業家之を用ひらるれば啻に製作の善を尽さるゝのみならず亦以て工藝の美術を發揚するに足らん歟

編者誌

水瓜

雪柳鷺

流こ鮎

笹蕨

住吉ノ景

筧ニ葛

百合

餅花ニ鼠

西王母桃

括猿
紅葉賀
落団扇
桐竹麟鳳

三世相
開扇
繋鐶

琴柱笹

枰

香の図

綾

雲鶴菱

子持藤

籠
通
天
伏
見
焼
松
向
梅

丸龍
伊勢海老
雲立涌
若松

七宝巻物
大編纏
更紗形
住の江
雲蔓
靏の丸

更紗
色紙短冊
周州尚
宝珠
遠丁子

花唐草
唐雲
角巴
藻貝盡
鐶唐花
光琳千鳥

蓮花
海藻巴

煙草葉
青海鶴
竹青海
三重襷
違天字

薬研歯
更紗
繋三枚笹
繋三階菱
駒
蝶丸形

石
七宝菱
笹蔓
毘沙門亀甲

踊花笠
吉野葛
把熨斗
更紗
亀甲
玉垣
代模様圖考

周師望敦
水仙
糸巻
桃柳
笹雀
上
十六

萩
笹
切子
蘭
周家
鐘
梅
鶴
柳
燕

虫籠
桜団扇
八方

青海壷
調子笛
辟邪鐘
瓶子
八橋杜若
帆掛舩

蝶唐草
三ツ升
菊葛
風車
如意

桔梗花
松葉輪違梅
向藤花
浪兎
古模様図考 上
十九

青海雉子尾
孔雀尾
天人唐草
遠檜扇

松竹梅
三宝
紫陽花
組菱

雷紋壷
更紗
鰯網
雨龍寿
絵葉紙
結拍

唐櫛
去盞
唐絞
龍骨車
綸子絞

碇
糸巻
萩の葉

檜垣牡丹
渦
抱蝶
利剱
折鶴

芳野の川
角桐
杉さや香こう
作ほ杵きね
寿宝ちや楮そ服
霞い盆ちゃ子ご

利休団
更紗
帆柱

末廣
櫛
的矢
唐人笠
露菱

藏建
大編鐘
稲雀
相唐草
子持山道
更紗形

光琳松
釘

利休桐
垂花向
菜種蝶
印金形
花丁子
角亀甲

高祖車向
宝の嚢
宝の笠
吾妻菊